

ホーロー抵抗器の被覆

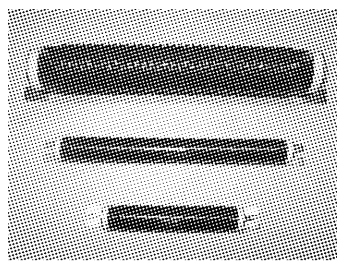
鉛フリー材開発

タマオーム

【川崎】タマオーム(川崎市多摩区、玉田寛美社長、044・944・8083)は、被覆材に鉛を

まったく含まないホーロー被覆抵抗器(写真)を開発した。6月に、電源施設、大型モーターなどで

使用されるRWH、RW C、Rの3タイプを鉛を含まないものに替える。価格は据え置き、150



〜3万円。初年度は前年度比20%増の5000万円の売り上げを見込む。

新しい被覆材は日本珪瑯釉薬(東京都板橋区、小島大介社長、03・3

969・4561)と共同で開発した。亜鉛、ホ

ウ素、ケイ素、バリウムほか9種類の素材を組み

合わせ、600〜800度Cで焼成するなど2年

間で200回以上の試作

・実験を繰り返し、ひび割れ、しま模様の発生を

解消。外觀、性能とも従来品と同等以上での製造

を可能にした。投資額は約500万円。

従来品は四酸化鉛ガラスを含んだホーローを被覆材として使っている。

欧州特定有害物質規制(RoHS)では「電子部品に含まれるガラス化した鉛」は禁止除外品になっているが、「近い将来、規制対象になる」

(玉田社長)と判断。ユ

ーザーが安心して継続使用できるよう、規制を先

取りする形で完全に鉛を

含まない新素材の開発に取り組んだ。